

日本地球電気磁気学会会報 (第19号)

1965年6月10日

日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区弥生2丁目11

東京大学理学部地球物理学教室内

電話(812)2111 内線6476

振替 東京4860番

第37回講演会および総会経過報告

皆様にお送りしてありましたプログラム通りの日程にて、5月26日から29日にわたる4日間、東京の理化学研究所で由緒ある講堂を主会場にして開かれました第37回講演会及び総会は盛会裡に終了いたしました。会の準備・進行などには大会委員長をつとめられました宮崎友喜雄評議員はじめ理化学研究所の方々に大変御世話になりました。また会場でのビラ掲示には東京大学理学部地球物理学教室の方々にお手伝いいただきました。ここに会員の皆さまと共に、第37回講演会・総会開催に当りまして御尽力下さいました理化学研究所の方々に厚く御礼申し上げたいと思います。

講演会では、都合により講演番号43, 82, 84が取消になりました。講演予稿集は、残部が少しありますので、金300円でお分けできます。但し会場に持参された予稿のうちには既になくなりましたものもありますので、講演アブストラクト全部が揃うわけには参りませんことを予め御承知下さい。

総会に御都合で御出席になれなかった方々のために、第37回総会における議事を報告いたします。総会出席者75名、委任状提出者51名、で総会は成立いたしました。近藤一郎運営委員が議長に依頼され、大会委員長挨拶、経過報告(庶務、会計、会誌、学会連合)、協議事項(学会規約一部変更の件、昭和40年度予算案、名誉会員推薦の件)、田中館賞受賞者発表および授賞、田中館賞審査報告、学会委員長挨拶、新委員長挨拶代読、名誉委員長祝辞、謝辞、その他(次回学会に関する協議など)の順で行なわれました。

庶務報告 福島運営委員から次の報告があった。(1)委員長・評議員・運営委員改選経過(第18号会報にて既報)、(2)本学会で昨年つくった長期計画

(2)

が日本学術会議に提出されてあること。(3) 日本学術会議が本学会を主要学会の一つとして認め、学術刊行物郵送費軽減を郵政省当局に申請してくれていること。(4) 科学技術庁から科学技術振興に関する基礎調査票を提出するよう要請があり、地球電気磁気学研究将来計画にもとづいて調査票を作成し提出準備をしていること。(5) 別刷交換会は新規加入申込者があれば加えて昭和40年度もこの組織をつづけること。(6) 新入会員紹介……前回総会以降に新たに会員になられた方々の氏名を紹介しました。会報第18号でお知らせしました後に新しく会員になられた方々(敬称略)は、

高木 亨 (京工繊大) 兼岡 一郎 (東大理)
鍋谷 祐夫 (秋田大) 鶴田 治雄 (東大理)
藤原 玄夫 (京大理)

です。総会当日現在、国内会員 264名、外国会員 50名、会員総数は計 314名となります。

会計報告 本会報第4頁左側にあります通りの昭和39年度会計決算報告を福島運営委員が行なった。

会誌発行関係報告 (大林運営委員) J.G.G.誌第16巻4号が完成直前であること、第17巻1号は印刷中、第17巻2号及び3号は1964年11月に米国ピッグバグ布で開かれた地球内部及び外部の磁場に関するシンポジウム特集号として通常号の約3倍の厚さのものが予定されていること、第17巻4号の原稿も集まりつつある。なお第17巻より表紙スタイルが一新すること、論文査読謝礼を支出することになった。

学会連合関係 秋本運営委員から、地球物理学連合は特に活動を行っていないと報告があった。

学会規約一部改正 平尾運営委員が、運営委員会提出の規約改正案について説明を行い、審議採決の結果次のように学会規約の一部が改正されることになった。すなわち(1) 正会員の会費を年頭1500円に値上げする。(2) 会員の種類に「学生会員」を入れ、年額は800円とする。(3) 学生会員という語が加わるために他の条文に変更が必要となる個所が生じるので適宜修正する。また選挙内規に加筆した個所があることを報告した。

名誉会員推薦 長谷川名誉委員長を名誉会員に推薦する議が提出され、全員の賛成を得た。長谷川名誉委員長は受諾される旨挨拶された。

田中鑑賞 今回の総会席上で授与されましたのは、

第34号 極冠帯電離層嵐の研究 羽倉幸雄

で、授賞式後、委員長から上記論文についての審査経過報告がありました。

委員長挨拶 恒例の委員長挨拶で、前田委員長は内外の研究情勢を紹介され、国内でいろいろと研究がますます発展することを希望され、また委員長任期終了に際して第二期学会運営に努力された評議員・運営委員に謝意を表された。

新委員長挨拶代読 加藤愛雄新委員長がハワイから本学会総会のために寄せられた挨拶を宮崎大会委員長が代読された。新委員長として学会の発展に尽力されたい御気持を披露された。

名誉委員長祝辞 長谷川名誉委員長は、学会の隆盛を讃えられ、由緒ある理研講堂で盛大な会が行なわれたことに祝辞を述べられた。なお日本学士院会員になられたこと、本学会名誉会員になられたことについて学会の推薦に謝意を表された。

謝辞 吉松評議員が全会員一同に代って、大会委員長宮崎評議員ほか理化学研究所の方々に深甚の謝意を表された。

学会事務所からのお知らせ

1. 本会報に添えて昭和39年度会費を納められた方々にはJ.G.G.誌第16巻4号を、第37回総会での記念写真を注文された方々には、写真をお届けしております。もし間違いがありました場合には事務所まで御注意下さい。
2. 本会報に添えて、第37回総会で訂正されました本学会規約をお届けします。本学会規約は完成されたものではありませんし、今後皆様でもっとよいものにしてゆく必要がありますので、お気付きの点は委員長、運営委員、学会事務所などに、お知らせ下さることを希望します。
また現在学生(大学院博士課程まで)であられる方々は、正会員になられることを希望されますが、あるいは学生会員になられることを希望されますか問合せを出しております。
もし本会報に添えてその問い合わせが同封されておられません場合には御面例でも学会事務所に御-報お願い致します。
3. 学会事務所では新しく名簿を作成し直したいと思っておりますので、所属変更、連絡先変更希望などございましたら、御本人または代理の方からお知らせ下さるようお願い致します。

なお 島山久尚評議員の連絡先は、東京都目黒区下目黒4の992(電話712-8548) となりましたとのお知らせをいただきましたことをお伝え致します。

(4)

会 計 報 告

昭和39年度決算報告

収 入 の 部

前年度繰越金	627.340	円
正会員会費	233.223	
準会員会費	508.092	
賛助会員会費	15.000	
文部省助成金	130.000	
預金利子	9.494	
予稿集売上	65.050	
別刷代金	598.391	
別刷交換会費	11.500	

計 2,198.090

支 出 の 部

第35回総会費	63.850	円
第36回総会費	71.710	
会誌JGG15-4	354.260	
“ 16-1	246.165	
“ 16-2	277.250	
“ 16-3	195.730	
雑印刷費	61.130	
通信・振替代	184.685	
消耗品費	48.525	
地球物理連合費	2.000	
会 合 費	2.700	
次年度繰越金	690.085	

計 2,198.090

昭和40年度予算案

収 入 の 部

前年度繰越金	690.085	円
正会員及学生会員費	300.000	
準会員会費	1,400.000	
賛助会員会費	150.000	
文部省助成金	150.000	
預金利子	18.000	
予稿集売上	70.000	
別刷代金	1,400.000	
別刷交換会費	20.000	

計 4,198.085

支 出 の 部

第37回総会費	90.000	円
第38回総会費	90.000	
会誌JGG16-4	300.000	
“ 17-1	350.000	
“ 17-2	1,100.000	
“ 17-3	1,100.000	
“ 17-4	350.000	
雑印刷費	80.000	
通信・振替代	350.000	
消耗品費	70.000	
会 合 費	6.000	
学会連合費	1.000	
人 件 費	90.000	
繰 越 金	221.085	

計 4,198.085

会員各位殿

昭和40年6月19日

東京都文京区弥生2丁目11
東京大学理学部地球物理学教室内
日本地球電気磁気学会事務所

運営委員の事務分担について

加藤新委員長の下に第3期運営委員による初運営委員会を去る6月17日に開いて次の様に事務分担を決めました。(○印主任)

総務 ○小口 高
庶務 ○上山 弘 小口 高
会計 ○小口 高
学会誌 ○大林辰蔵
会報 ○上山 弘
講演会・総会 ○北村正丞 新野賢爾
渉外 ○平尾邦雄
学会連合 ○秋本俊一
学術会議関係 ○柳原一夫
JGG海外紹介係 ○近藤一郎 他全委員
別刷交換会 ○小口 高

新入会員紹介

昭和40年6月17日の運営委員会で次の方々の入会が承認されました。(敬称略)

高木 昇(東大宇宙航研) 西田泰典(北大理)

第38回講演会並びに総会について

春の第37回総会で決定されましたように、次の第38回講演会並びに総会は京都大学に於て開かれますが、その期日を

昭和40年11月3日(水)～6日(土)(4日間)

と予定しております。ことをここに早速お知らせ致しておきます。

次回講演会及び総会についての詳細は次号会報で御通知申し上げます。